



教育目標

明るく思いやりのある子(きよく)  
進んで学ぶ子(かしこく)  
健康でねばり強い子(たくましく)

## 沖縄県緑化コンクール 準特選 受賞

1月20日(土)伊江島にて、沖縄県緑化コンクールの表彰式が行われました。

緑化コンクールは、県民の緑化活動と学校、公共施設等における緑化の推進と森林の整備に大きく功績のあった個人及び団体を表彰をします。その中で学校環境緑化の部は、県内の小中学校・高等学校・特別支援学校で、児童・生徒・職員・PTA等による植栽が計画的に行われ保護管理が良く、学校教育の一環として緑化が推進されている学校に授与されます。

本校は、平成19年度に入選を果たして以来、10年ぶりの「準特選」を受賞することができました。これもひとえに、地域の協力、PTAとの連携、児童の活動の充実が図られたおかげだと、感謝しています。これからも、「地域の学校」として、子ども達にとって、よき環境づくりに取り組んでいきます。



写真1 6年生と美化委員(H30年1月19日 県内新聞掲載)

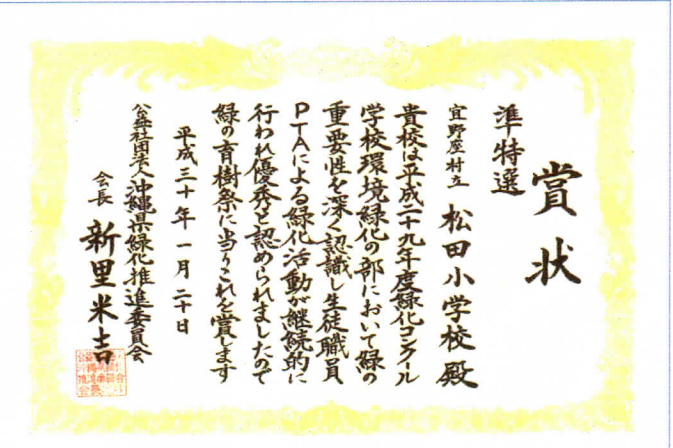


写真2 表彰状

### 受賞の講評

宜野座村立松田小学校は、1945年、馬場の跡に建設された。校門前に居並ぶ約50本のリュウキュウマツ(村文化財)は、学校のシンボルであり、児童と地域の誇りとなっている。

児童は日々の花壇の手入れや清掃と併せ、松並木の整備にも取り組む。ほとんどの在校生は松田区から通学し、学校便りが松田区全世帯に配布され、年5回あるPTA作業(夕方から実施)への参加率は高い。

環境教育の中で目指す児童像「自然に目を向け、自然と触れ合い、大切に作る子」の育成に学校、PTA、地域がしっかりと連携を取っている。

「地域の学校」の意識が高く、植栽や苗木、草花の提供など、緑化活動の広がりもみられる。

2013年の北・中央校舎の完成後、モモタマナやホウオウボクなどが植樹され、バランスを考慮した緑化が進んでいる。同校は、2007年度に緑化コンクール入選を果たしている。

(中央審査員 松元 剛)

### 校内の緑化の様子(コンクールへの提出資料より)



写真3 校門より松並木をのぞむ



写真4 テニスコート西側のバナナ